

# 汲中図書通信

夏号(第1号)

発行:横浜市立汲沢中学校図書ボランティア



発行日:2021年8月27日(金)

2021年度、コロナ禍でまだまだ制約された学校生活を送らざるを得ない状況が続いていますね。図書館でも以前やっていたような「図書館イベント」は密を防ぐため残念ながら休止状態です。そこで、図書ボランティアが今できる事はないか考え、新たにボランティアによる通信をお届けすることになりました。皆さんお一人ひとりが【本による心の充実体験】を味わって欲しいと思います。

2021年度最新 中学生におすすめな本

人気ランキング30選より

本のランキング ~ベストスリーは~

1位:『博士の愛した数式』

作:小川洋子 新潮文庫

2位:『モモ』

作:ミヒヤエル・エンデ 岩波少年文庫

3位:『かがみの孤城』

作:辻村深月 ポプラ社

【読書の夏】熱いときこそ涼しいところで読書を:掲示板より(右)



わたしの一冊 ... 図書ボランティア Sさん

『友だち幻想』 菅野仁:著 箸井地図:絵

ちくまプリマー新書

この本のキーワードは「人との距離」。正直、この本の内容はちょっと堅いし難しいかもしれません。でも、8章だけでもぜひ読んで欲しい。「読書も作者との人間関係なのだ」というようなことが書かれています。もしかすると、これを機会に、あなたの本の読み方が変わるかもしれません。

わたしの一冊 ... 図書ボランティア Mさん

『広島第二県女二年西組一原爆で死んだ級

友たち』 関 千枝子:著 ちくま書房

広島の被爆でクラスの39名(12, 13歳)が全員死亡。その日、病欠の関さん一人が助かった。級友の記録を残すべく全遺族を8年かけて取材、本にまとめた。日本ジャーナリスト会議奨励賞受賞。生涯、核兵器廃絶を訴え、この2月原爆症で亡くなる。88歳。元毎日新聞記者。

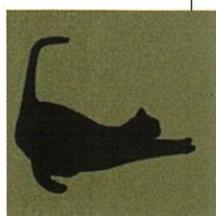


戸塚・泉の今と昔 シリーズ①

「突然ですが、みなさん、猫は好きですか?」

「踊場駅」には、愛らしい猫を描いたデザインがあります。なぜでしょうか? 踊場とは「またたびを食べた3匹の猫が踊っていた所」とされています。昔から伝わる「戸塚宿、猫の踊場伝説」に由来します。ですから、猫をモチーフとしたデザイン(右のようなデザイン)が駅のあちらこちらに描かれています。みなさん、駅を利用する時は、ぜひ改札口・地上出入口・通路・天井・出入り口ひさし部に注意してみてください。(猫好きの君は特に...)

またたび:猫はまたたびの匂いを嗅いだり食べたりすると、とてもリラックスでき、身体をこすり付けたり気持ちよさそうにゴロゴロするそうです。



原爆で死んだ級友たち

